



豊かな子

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



子ども県展「優良学校賞」受賞

毎年、全校あげて取り組んでいます子ども県展への作品応募ですが、今年度は本校の取組が評価され、「優良学校賞」を受賞いたしました。

全校あげての継続した取組や応募数や受賞者数の多さ（特選3名、入選36名）が評価されました。

豊かな感性（感受性）、絵画描写の技法や子どもらしい表現力、将来画家を目指すとかいうことではなく、美しいものに気づき、感動する、それを大切に

する、素直に表現する能力は、ひあっしーが持つ能力そのものであり、子どもたちに育てたい資質です。美しいもの、命あるものを大切にできるひあっしーへ！



諫早小から特選に選ばれた3作品です。



校内マラソン大会 ー各学年開催ー

ようやく実施できました、マラソン大会。練習の期間が延びたことで子どもたちの体力づくりが継続できたことは、延期したメリットです。朝の運動場を自主的に走る子どもたちの姿は、やる気に満ちて、きらきら輝いて見えました。マラソン大会では、最後まであきらめないで走り切ることが、すべての子どものめあてです。頑張って走った子どもたちに、大きな拍手を送りたいと思います。

ひあっしー「自分にきびしく」の能力獲得に向けて、大きく前進することができました。（※4年生は、後日児童の健康状態を見ながら実施します）



お詫び・お礼

12月開催の校内マラソン大会ですが、度重なる悪天候により、3度の延期でも実施できず、学年別記録会となってしまいました。保護者の皆様には、お仕事の調整等で多大なご苦勞をおかけしましたことに、深くお詫び申し上げます。教育活動の公開の機会を最大限確保すること、子どものがんばりや成長を、多くの方々と共有することが、延期の意図でした。ご理解下さい。

「粘り強くがんばること」



アメリカの大学の「粘り強くがんばる子ども」についての研究です。

4才の子どもを20人くらい集めて、その子らの目の前においしそうなマシュマロを1個ずつ置き、「今すぐ1個のマシュマロを食べていいけど、15分間待てたら、マシュマロは2個食べさせてあげるよ。」と言いました。この4才の子どもたちはどうしたかというと、3分の2の子どもたちが目の前にある1個のマシュマロを食べました。そして、残りの3分の1の子どもは我慢強く15分待ち、2個のマシュマロを食べたのでした。

10年以上経ってからの調査で、この子どもたちの成長の仕方と、幸福感の様子を調べたのですが、すぐに1個食べた子どもたちと、15分待つて2個食べた子どもたちでは、はっきりとした違いがあったのでした。

我慢強く待った子どもたちは、高校で上位の優秀な成績を収めていたのです。自信にあふれて満足度も高く、問題解決能力もあって、苦しいことを乗り越えて目標を達成することができていました。この子どもたちの共通点は、大きな目標のためには、いろいろなやりたいこと、なまけたい心を我慢して、きつい時間を過ごす能力を持っていたことです。

それに対して、1個だけのマシュマロに飛びついた子どもたちの特徴としては、強情で意地っ張り、そのくせに他人の影響を受けやすく、決断力が弱かったのです。自分に自信がもてず、何にでも不満を持って文句ばかり言い、すぐにやる気をなくしやすい高校生になっていました。大きくなってからも、きついことが我慢できず、楽しいことや楽なことの誘惑に負けてしまいやすい人になっていたので（該当するすべての子どもに当てはまるものではなく、傾向を示しているもののご理解ください）。言い換えれば、この子たちには、大きなご褒美をもらうためにじっくりと努力することよりも、今すぐに小さなご褒美をもらおうとする特徴があるということなのです。

「今、楽しいことをしたい」「今は楽がしたい」「今は、きついことは後回しにしたい」という気持ちは、「今がよければいい」ということです。将来的な、少し先の自分にとって、大きなご褒美をもらい、成功しようと思うならば、「今はきついことを我慢して頑張ろう」と考えなければなりませんね。



学年ごとのマラソン記録会で見せてくれた子どもたちの頑張り、粘り強さは、どの子にも備わっている資質・能力、人間性だと確信しました。学童期の今こそ、その能力を鍛え、高めていくことが重要だと思います。将来、どんな困難に直面しても自分の力で乗り越えていく「たくましさ」を、すべてのひあしっ子に…。まずは、子どもたち自身が、自分のことをきちんとできるように、愛情のこもった厳しさで、接していきたいものです。子の自立に向けて。



告知「ふれあい体育館の改修工事」

ふれあい体育館の外装、屋内床張り替え工事が、3月から始まります。諫小が体育館を使用できない期間は、夏休み期間中で、プールは使用できます。体育のカリキュラムに大きな支障は出ませんが、工事期間中は、子どもたちの安全を確保していきたいと思えます。ふれあい体育館の駐車場は、工事事務所が建ち、工事車両も入ります。スペースが狭くなりますので、登校時の車での送りは必要がある場合（校区外、怪我等）に限り、その他は極力お控えいただきますようお願い致します。交通事故防止にご協力ください。